

編集後記

- ◇ 今年も、本格的な焼きいもシーズンを迎えた。いも類振興会の平成25～26年度事業の一環で企画編集の「焼きいも事典」は、当初計画どおり2014年10月に当振興会から刊行の運びとなった。

本事典は、これまで断片的に紹介されてきた焼きいも情報を含め、新たな知見も大幅に取り込み、焼きいもの全てについて体系的・学術的にわかりやすく解説されている。暗中模索の状態で編集作業を進めてきたが、執筆者39名の協力もあって多彩で興味深い事典内容になったと自負している。焼きいも事典は、B5判・約260頁で、定価は2,500円＋税(送料別)を予定している。購読ご希望の方は、E-mail、電話等で、いも類振興会へお申込み下さい。

- ◇ 日頃、当振興会にはマスコミやいも類に関心のある方々から、サツマイモ、ジャガイモに関する多様な質問・問い合わせがあり、それらに対応している。

最近の傾向としては、ジャガイモよりもサツマイモに関する質問・問い合わせが多い。本誌「いも類振興情報」の目次構成でも、サツマイモとジャガイモの記事をバランスよく取りあげるという編集方針で誌面構成にあたっているが、結果としてサツマイモに関する記事の多さが目立っている。したがって、ジャガイモ関係者からの積極的な寄稿をお願いしたい。

- ◇ 本誌No.121の特集は、ジャガイモの重要病害であるジャガイモウイルス病をとらえ、その発生状況と防除対策について4名の方々に執筆いただいた。

Yウイルスを主体に最新のジャガイモウイルス病研究の現状と課題については眞岡哲夫氏に、原原種生産とジャガイモウイルス病対策の現状については木村鉄也氏に、また、原種・採種圃など現場でのジャガイモウイルス病の発生状況と防除対策については北海道の野津あゆみ、長崎県の小川哲治の両氏に、それぞれ現地での事例を基に執筆いただいた。厚くお礼申し上げる。

- ◇ 2年毎に開催されている第6回日中韓サツマイモワークショップは、(独)農研機構主催により、2014年11月28日(金)～30日(日)の3日間、鹿児島市の「かごしま県民交流センター」で開催される。このワークショップでは、東アジア諸国における最新のサツマイモ研究情報等が得られるであろう。多数の出席を期待したい。

なお、詳細は事務局である農研機構九州沖縄農業研究センター畑作領域(http://www.naro.affrc.go.jp/event/list/2014/08/naro_symposium2014.html、TEL: 0986-24-4273、ytaka@affrc.go.jp)に問い合わせ下さい。(狩谷 昭男)

いも類振興情報 第121号

2014(平成26)年10月15日発行

定価 1部 500円
年間購読料(季刊) 2,000円

発行 一般財団法人 いも類振興会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-10-41 ヴィップ赤坂303
TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225

E-mail: imoshin@fancy.ocn.ne.jp
郵便振替 00130-1-110152

印刷 株式会社丸井工文社